



「名護屋小学校便り」第1号

「懸橋（かけはし）」

令和2年4月6日

発行者 校長 中村謙輔

「名護屋小学校」令和2年度のスタート！～

令和2年度がスタートしました。子どもたちの登校を待ちきれなかった桜が少しずつ散っていますが、みんなが子どもたちの登校に胸を躍らせています。昨年度末より、新型コロナウイルス感染防止のために子どもたちは約1か月家庭で過ごすこととなりました。なかなか友達とも会えずに、寂しい思いもしたことでしょう。新学期を迎えた子どもたちは、久しぶりの学校に興奮を抑えきれないようです。新しい学年に進級し、新しい担任の先生を迎えました。昨年度3月の辞任式ではたくさんの先生方との悲しいお別れだったと思いますが、始業式の日には新しい先生方を迎えました。共に一回り大きな名護屋小学校になるよう張り切っていきましょう。



学校教育活動の再開について

新型コロナウイルスの感染状況については、保護者の方々も心配されていることと思います。県内でもすでに5名の感染が確認され（4月5日現在）、隣県福岡県では100名を超えています。今回の学校再開に当たっての対応について、市教育委員会より次のような通知がきました。市内の小中学校はこのことを基本として教育活動を再開します。

- 1 「基本的な感染症対策」及び「集団感染リスクへの対応」を徹底する。「換気の悪い密閉空間」「多くの人が密集」「近距離での会話や大声での発声」の3条件が同時に重なる場を徹底的に避けること。
- 2 感染が拡大している地域への不要不急の外出を避けること。
- 3 修学旅行や県外との交流、宿泊研修等は当面の間自粛すること。
- 4 始業式、入学式については、十分な感染防止対策を講じること。（入学式は卒業式に準じる）

基本的に「密閉」「密集」「密接」の「3密」を避けることとなります。学校という中で、対応が難しいところもありますが「感染しない、感染者を出さない」ことに最大限努めていきますので、御理解と御協力をお願いします。これからの行事等について確認をします。

入学式…新入生保護者には、本日別紙にて詳細をお知らせしています。

○参加は、新入生・新入生保護者・教職員のみ（2～6年生は教室で自習、本校職員が見ます）

○内容を削減し、短時間で行う。

○窓を開放するなど、換気に努める。

※発熱、または風邪の症状がある方の参加はご遠慮ください。

授業参観…予定通りに行います。窓・ドアの開放、アルコール消毒、マスク着用で対応します。ご協力をお願いします。

春の遠足…3密の条件である「密閉」に対応できるので、予定通りに行います。

PTA 総会・PTA 歓送迎会…PTA 役員の方々と話し合い、早めにお知らせします。

学力状況調査…4月実施予定でしたが、延期になります。期日は未定です。

これらのことについては、4月6日現在の計画です。感染状況により、今後変更することも十分に考えられます。変更の際には早め早めにお知らせします。

赴任してこられた先生を紹介します



【中村 謙輔】伊万里市立波多津小学校から来ました。現在 56 歳、子どもが 3 人います。今から 20 年以上前、20～30 歳代の 1 番元気のある頃、名護屋小学校に 8 年間勤務していました。鳥居をくぐった瞬間、懐かしさがこみ上げてきました。先日 NHK の番組を見ていた時に、古舘伊知郎さんのファミリーヒストリーが紹介されていました。祖父が名護屋の方で、父親が波多津に住んでおられたように聞き、今回の異動に不思議な縁を感じました（自分勝手な想像ですが）。今回、校長として新たなスタートです。子どもたちのために精一杯努めますので、よろしくお願いいたします。



【長岡 諒太】武雄市の北方小学校で 3 年間、唐津市の湊小学校で 2 年間お世話になり、今年度から名護屋小学校にやってきました。出身はお隣の呼子町で、名護屋城跡には小学生時代の遠足でよく来ていました。海と桜がとても素敵な学校で、20 代最後の年を過ごせることを嬉しく思います。笑顔いっぱい子どもたちと過ごしていきたいです。よろしくお願いいたします。



【坂本 詩穂】今年度新規採用となった坂本詩穂です。前年度までは講師として、肥前町の田野小学校で働いていました。赴任後、名護屋城博物館を訪れ、桜の綺麗さに圧倒されました。こんな素晴らしい地域で働くことを嬉しく思います。子ども達からも名護屋の素晴らしさをたくさん教えてもらえればと思っています。早く学校に慣れ、全校児童の顔と名前を覚えていきたいと思います。2 年生の担任として、笑顔いっぱい頑張りますので、よろしくお願いいたします。



【袈裟丸 孝】自分自身が卒業した愛する名護屋小学校で、生活支援員として働くことになりました。たくさんの楽しかった思い出がありますが、半世紀も経っているので、校舎はもちろん変わっています。思い出になるものは何かないかなと周りを見回すと“ありました”。豊臣秀吉像やせんだんの老木。とてもなつかしいです。思い出を温めながら、地元の子どものために、しっかり頑張ろうと思えます。よろしくお願いいたします。

「懸橋」1号では、新学期のスタートに当たって、赴任者の紹介をしました。2号（入学式当日に発行予定）では、全職員の紹介と今年度の学校教育目標等についてお知らせします。学校と家庭、地域への懸橋になるよう発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。